総合ICT事業

### セグメント別営業概況

社長メッセージ

# 地域通信事業



総合ICT事業では、新生ドコモグループとしての新体制がスタートしたことを踏まえ、法人事業の拡大、ネットワークの競争力強化、サービス創出・開発力強化とDX推進の大きく3つのシナジーを創出するための取組みを進めたほか、5Gサービス等の販売を推進しました。

### 2022年度の実績



#### 重点的取組み

### ■「変革のNEXTステージ」…総合ICT企業に向け事業ポートフォリオを変革し、持続的成長を実現

| 法人事業       | <ul><li>統合ソリューションの提供価値向上による社会・産業課題の解決</li><li>モバイル・固定の融合による業務の効率化をサポート</li></ul>              |
|------------|---|
| スマートライフ事業  | オーガニックな事業成長に加え、非連続な成長を取り込む 事業成長の拡大と将来成長に向けた取組み両立を実現   |
| コンシューマ通信事業 | <ul><li>リアルとオンラインの両面でチャネル改革を進め、ハイブリッドでの新たな顧客体験を創出</li><li>ネットワークの品質と信頼性向上に向けた取組みを継続</li></ul> |

### TOPICS

### NTT Com、竹中工務店、清水建設と建築現場の DX実現に向けた協業を開始

NTTコミュニケーションズ、株式会社竹中工務店及び清水建設株式会社は、建築現場のDXの実現に向けた協業を2023年7月に開始しました。3社が協業し共同で検討することで、より一層の開発促進をめざし、建築現場において日々行われる、工程管理、リソース手配、作業指示等に必要な様々な施工管理情報を、工程表の計画から作業日報に至るまでデジタル化し、これらを連携させることにより、工程と作業をつなぐ施工管理業務全体の生産性向上に取り組みます。

### デジタル口座サービス「dスマートバンク」を提供開始

NTTドコモと株式会社三菱UFJ銀行は、デジタル口座 サービス「dスマートバンク」を共同開発し、2022年12月より提供を開始しました。これは、「dカード」のご利用代金や携帯電話料金等の引き落とし、一定額以上の給与等の受取り に利用することで、dポイントがたまるデジタル口座サービスです。本サービスを通じて、お客さま一人ひとりのお金への向き合い方をサポートすべく、ご利用シーンに合わせて安心・便利にご利用いただける金融サービスの拡充に、今後も引き続き努めていきます。

### 新サービス[eximo] [irumo]の提供開始

NTTドコモは、2023年7月より新しい料金プラン「eximo」「irumo」の提供を開始しました。「eximo」は、データ利用量が少ない方から、外出先での動画視聴等データ利用量を気にせず無制限\*で使いたい方まで、お客さまの多様なニーズにお応えします。「irumo」は、データ利用量が少なく、かつ低廉な料金をお求めのお客さま向けのプランになります。既存の「ahamo」も含め、金融・決済や映像等のサービスと組み合わせて魅力的なサービスミックスを提供し、お客さまにとっての価値を最大化していきます。

※ ネットワーク混雑時・大量通信時等に通信制限がかかる場合があります。

### 2022年度の実績

地域通信事業では、地域の社会課題解決に向け、企業・自治体・社会のDXを支援するソリューションビジネスの強化

のほか、光アクセスサービス等を様々な事業者に卸提供する「光コラボレーションモデル」の提供を推進しました。

NTTグループの

サステナビリティ



### 重点的取組み

#### ■ NTT東日本 -地域循環型社会を支える取組みの強化-

| デジタル社会を支える<br>アクセスネットワークの進化         | • 地域エッジの機能拡充やリモートニーズへの対応等   |
|-------------------------------------|---|
| お客さまのオンプレミス環境を支える<br>統合マネージドサービスの提供 | ● 構内・オフィス内のLAN環境モニタリング〜保守・運用を一元的に対応等  |
| 地域社会のレジリエンスを支える<br>エンジニアリング         | <ul><li>● 設備構築・運用等業務を株式会社エヌ・ティ・ティ エムイーに集約し、<br/>通信インフラを構築・運用する技術・ノウハウを一元化</li></ul> |
| 日本のインフラを支える<br>ネットワークの更なる信頼性向上      | • 業界横断による更なる信頼性の向上やAI等を活用した保守・運用の強化等  |

#### ■ NTT西日本 -成長分野ビジネスを通じて社会課題解決に貢献-

- お客さまへのトータルソリューション提案(自治体向け地域創生クラウド推進、大学向け教育DX推進等)
- QUINTBRIDGEを活用したビジネス共創ピッチや未来共創プログラムによるパートナーとの事業共創の推進
- IOWNを活用した新たな利用シーンの創出(低遅延ネットワークを活かした新たなエンターテインメント体験等)
- 社会的な重要インフラである通信サービスの確実かつ安定的な提供(オペレーションの高度化、通信設備の強化等)

#### **TOPICS**

### APN IOWN1.0の提供開始

NTT東日本及びNTT西日本は、IOWN構想の実現に向けた初めての商用サービスとして、通信ネットワークの全区間で光波長を専有するオールフォトニクス・ネットワーク (All-Photonics Network、以下、APN)IOWN1.0の提供を開始しました。APN IOWN1.0は「高速・大容量」「低遅延・ゆらぎゼロ」を実現します。また、同時に販売開始した「OTN Anywhere」を組み合わせることで、「遅延の可視化・調整」も

実現します。遠隔合奏や遠隔レッスン、eスポーツ、機器の遠隔操作、データセンター間の緊密な連携等での活用に加え、今後お客さまとともにご利用シーンの創出を進めていきます。また、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)においては世界の皆さまにIOWNを体験していただけるよう、APN関連技術の高度化に向けた研究開発を進めていきます。

64 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION

グローバル・ソリューション事業

グローバル・ソリューション事業では、市場の変化に対応したデジタル化の提案、システムインテグレーション等の多様なITサービスの拡大と安定的な提供のほか、データセンタービジネスやマネージドサービスといった成長分野でのサービス提供力の強化に取り組みました。

### 2022年度の実績



## ■ NTTデータグループ 中期経営計画での戦略

NTTデータグループは、Trusted Global Innovatorとして、未来に向けた価値をつくり、様々な人々をテクノロジーでつなぐことでお客さまとともにサステナブルな社会を実現することをめざしていきます。

| 戦略の全体像 | <ul><li>ITとConnectivityの融合による新たなサービスの創出</li></ul> |
|--------|---|
|        | • Foresight起点のコンサルティング力の強化                        |
|        | <ul><li>アセットベースのビジネスモデルへの進化</li></ul>             |
|        | • 先進技術活用力とシステム開発技術力の強化                            |
|        | <ul><li>◆ 人財・組織力の最大化</li></ul>                    |

### **TOPICS**

### 多様なデータを連携させて根拠ある回答文を 作成する生成AIサービスを提供開始

NTTデータは、社内規定や業務関連資料、外部の公開データ等多様なデータを生成AIとセキュアに連携させて回答文を作成する"LITRON Generative Assistant"を開発し、2023年6月より提供を開始しました。NTTデータは以前より大規模言語モデルを活用した文書読解AI「LITRON」を市場投入し、継続的な研究開発を進めてきました。本サービスの開発にはその成果が活かされています。また、本サービスは、NTTデータが提供するデータ分析基盤を活用しており、お客さまのセキュリティー面の不安を解消するとともに、先進技術の導入を早期に実現します。

### 既存データセンターで活用可能なラック型液浸冷却 システムを三菱重工と構築

NTTデータは、既存データセンターで活用可能なサーバー等のIT機器を液体の中で直接冷却する「ラック型液浸冷却システム」を三菱重工業株式会社と構築しました。本システムは、IT機器を特殊な絶縁性のある液体に浸し、効率的な冷却を図ります。三鷹データセンターEASTでの実機検証の結果、冷却にかかるエネルギーを自社ビル基準において92%削減し、さらに液浸冷却では一般的なシステムに比べて運用性も173%向上することが確認されました。この結果を踏まえ、今後、NTTデータは本冷却システムを自社データセンターの実環境への適用、サービス化をし、NTTグループが掲げる脱炭素の削減目標やお客さまの脱炭素化・省エネ効果へ貢献し、省エネルギーかつ地球にやさしいシステムサービスの実現・提供をめざします。

### セグメント別営業概況

社長メッセージ

# その他(不動産、エネルギー等)

NTTグループの

サステナビリティ

不動産事業では、NTTアーバンソリューションズを中心に、ICT、不動産、エネルギー、環境技術等のリソースを最大限に活用することにより、個性豊かで活力ある街づくりを推進しました。エネルギー事業では、NTTアノードエナジーを中心に、再生可能エネルギー発電所の開発、エネルギーマネジメントシステムを活用したエネルギーの地産地消、脱炭素ソリューションの展開等を推進しました。

成長戦略

ガバナンス

データセクション

### 2022年度の実績



### 重点的取組み

#### ■ 個性豊かで活力ある街づくり

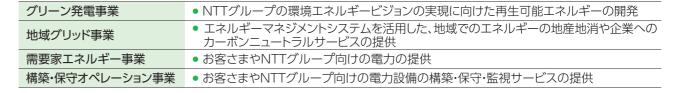
NTTアーバンソリューションズグループは「あなたと、まちと、みらいをつなぐ。」をスローガンに、地域の課題を解決に導くコンサルティング力、国内外で様々な実績を持つ不動産開発力、ファシリティに関するあらゆる分野に精通する設計・エンジニアリング力、豊富なノウハウを生かし資産価値を高めるマネジメント力等を結集し、永く地域社会の成長、発展にかかわり続けます。

NTTグループの総合力を活用した グループならではの 新たな「街づくり」を推進

- 街づくりに関するコンサルティング、基礎情報等の収集・調査・研究・分析
- 不動産開発、マネジメント
- 設計・エンジニアリング、ファシリティソリューション
- プロパティマネジメント、ICTマネジメント、エネルギーマネジメント

### ■スマートエネルギー事業

NTTアノードエナジーはスマートエネルギー事業により脱炭素社会の実現に貢献します。



### **TOPICS**

### 世界2例目となるスマートシティ国際規格 ISO37106のレベル4認証を取得

NTTアーバンソリューションズが手掛ける名古屋市東区東桜一丁目エリアにおいて、スマートシティ運用モデルに関する国際規格であるISO37106について、世界で2例目であり、現在認証されている最高レベルであるレベル4認証(BSI認証)を取得しました。今後もNTTグループとして、地域・住人により運営されるまちづくり、地域・住民の幸せ(Well-being)の最大化を実現すべく、"サステナブル"で"Well-being"なまちづくり支援を展開していきます。

### 再生可能エネルギー発電事業者

#### グリーンパワーインベストメント社等の買収

NTTアノードエナジーは、株式会社JERA(以下、JERA)と共同で、米国の再生可能エネルギー事業者Pattern Energy Group LPが保有する株式会社グリーンパワーインベストメント(以下、GPI)の株式の取得等を完了しました。今後、NTTアノードエナジーとJERA、そしてGPIの3社は、それぞれが有する再生可能エネルギー事業のノウハウや知見、強みを効果的に活用し、日本国内の再生可能エネルギーの普及を通じ、日本の2050年カーボンニュートラル実現へ貢献するため、さらに取組みを推進していきます。(詳細はP.24をご覧ください)

66 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION